

平成29年度 白子小学校 学校経営方針

1 学校経営の基本理念

- (1)学校教育目標を実現するため、学年・学級目標及び教科、領域等の指導目標との関連を密にし、組織的・計画的な教育活動を推進する。
- (2)学習指導要領の趣旨を踏まえ、確かな学力、豊かな人間性、健康や体力などの「生きる力」の育成を図るとともに新学習指導要領への対応を進める。
- (3)教職員が強い使命感と組織の一員としての自覚を持って、一丸となって職務の遂行にあたる。
- (4)家庭・地域と目標や課題を共有し、開かれた学校づくり、信頼に応える学校づくりを推進する。

2 目指す学校像

「笑顔、力、夢を 地域とともにはぐくむ学校」

(1) 学校像

- ・きれいに整えられ、安全安心な学校
- ・すべての児童が認められ、生き生きと楽しく活動する学校
- ・地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」

(2) 児童像

- ・自ら考え、進んで活動し、学びを深める子ども
- ・お互いの良さを認め合い、だれとでも助け合えるやさしい子ども
- ・明るく健康で、目標に向かってねばり強く取り組む子ども

(3) 教師像

- ・授業改善に努めるとともに児童に寄り添い、児童のよさや可能性を伸ばす教師
- ・使命感と情熱を持ち、切磋琢磨しながら組織の一員として協働する教師
- ・児童、保護者、地域社会からの期待に応える教師

3 学校教育目標

○ 考える子（知育）

- ◇「読み・書き・計算」や「話す・聞く」などの基礎・基本が身についている。
- ◇問題を発見し、筋道を立てて調べることができる。
- ◇比べたり違いを見つけたりして問題を解決することができる。
- ◇必要な情報を選択し、調べたことや考えたことをまとめて発表することができる。
- ◇学んだことを他の学習に生かすことができる。
- ◇意欲を持って学び、学習活動の振り返りができる。

○ 仲良くする子（徳育）

- ◇約束やきまりを守ることができる。

- ◇互いのよさを認め合うことができる。
- ◇みんなの中で、自分を生かすことができる。
- ◇励ましあい、協力し合って進んで活動できる。
- ◇元気のよいあいさつや正しく丁寧な言葉遣いができる。
- ◇素直な心で感謝することができる。

○ **元気な子（体育）**

- ◇進んで運動し、体を鍛えることができる。
- ◇正しい姿勢で生活することができる。
- ◇身の回りの整理整頓に気をつけ、一生懸命清掃に取り組むことができる。
- ◇進んで自他の健康や安全に気をつけることができる。
- ◇食べることの意味を理解し、楽しく食事ができる。
- ◇目標に向かってねばり強く最後までやり抜くことができる。

4 重点目標

- (1) 安心安全な学校づくりに努める。
 - ・危機管理体制を見直し、リスクマネジメント・ナレッジマネジメントを機能させ、クライシスマネジメントを確立する。
 - ・災害や不審者を想定した訓練や日常の指導を通して児童の危機回避能力を高める。
- (2) 個性を生かし、互いが認め合い支え合う学年・学級経営に努める。
 - ・学校経営方針に基づき教師間の協力と創意工夫を生かした経営を進め、児童ひとり一人に自信と意欲を育む。
 - ・個々の児童のよさや可能性を生かし、教師と児童、児童相互の信頼関係を深める。
- (3) 全教育活動を通して、豊かな心をはぐくむ教育の推進を図る。
 - ・特別な教科「道徳」の研修を進めるとともに、基本的な生活習慣や社会生活上のきまり、基本的なモラルの育成など、人間としてより良く生きるための基礎・基本となる道徳性を育成する。
 - ・望ましい集団活動を通して個性の伸長を図り、発達の段階に即した豊かな人間性や社会性をはぐくむ。
- (4) 個に応じたきめ細かな指導により、授業の質の向上を図る。
 - ・基礎的・基本的な知識・技能の習得を重視するとともに、探究活動の充実を図り、思考力・判断力・表現力などの育成を図り、学びへの意欲を喚起する。
 - ・「学習の約束」を作成し、発達段階に応じた指導を推進する。
 - ・授業のねらいを明確にし、児童の興味・関心を生かした体験的な学習や問題解決習の充実を図り、より楽しくわかりやすい授業づくりを進める。
 - ・指導力向上のための研修を充実させるとともに教職員の知の共有化を図り、授業の充実を図る。

- (5) 共通理解・共通実践に基づく、積極的な生徒指導を推進する。
- ・基本的な生活習慣について組織的・計画的に指導し、人の心の痛みがわかり、物事の善悪の判断が適切にできる、規律ある生活態度の育成を図る。
 - ・小さなサインを見逃さず、児童の思いや願いを共感的に理解し、組織として早期発見や早期対応に努める。
 - ・ひとり一人のニーズに対応する相談体制を整えるとともに通常の学級に在籍する児童も含めた特別支援教育の充実を図る。
- (6) 体力の向上と健康教育の充実に努める。
- ・元気でたくましく生きるための健康や体力を培うため、学校の教育活動全体を通じて自ら進んで運動に取り組む機会を増やし、計画的・継続的に指導の充実を図る。
 - ・体力向上目標値を設定し、児童が主体的に運動するよう授業の工夫改善を進めるとともに、食育や保健教育の計画的な指導を通して健康教育の充実に努める。
- (7) 情報化・国際化等、社会の変化に対応した教育の充実に努める。
- ・ICTに慣れ親しみ、基本的な操作や情報モラルを身につけるとともに、児童が必要な情報を主体的に収集・判断・処理・編集・表現し、発信する能力を育成する。
 - ・国際社会の一員として、自国及び諸外国の伝統や文化等を理解して、相手の立場を尊重して意思疎通を図ることのできる資質や能力を育成する。
 - ・持続可能な社会を作るための環境教育、互いに支え合い、豊かに生きていこうとする心や態度を育てる福祉教育など、社会の変化に対応するための教育の充実に努める。
- (8) 保護者や地域との連携を深め、「地域とともにある学校づくり」を推進する。
- ・地域人材や地域の教育資源を教育活動に進んで取り入れ体験活動の充実を図るとともに地域から学び、地域を大切にする教育実践に努める。
 - ・授業公開やホームページ、学校便り等で教育活動の様子を保護者や地域に積極的に発信するとともに、双方向の情報交換を推進する。
 - ・PTAや学校応援団、地域自治会や関係諸機関と連携を深めるとともに、学校運営協議会を通して目指す学校像や学校教育目標及び課題を共有し、創意や工夫を生かした特色ある学校づくりの推進を図る。